



機殿まちづくり協議会会報

第10号

発行: 2012・1・1

機殿まちづくり

広報編集委員会

松阪市六根町

TEL: 0598-59-0351

新年のごあいさつ

会長 鈴木正一

新しい平成24年をお迎える皆さん、きっと、おだやかながらも何か希望が感じられる良い年でありたいそんな年にしようと誓いを新たにされたことと存じます。

平素は機殿まちづくりに参加をいただいたり、大いに興味を感じながらも忙しい毎日の中で、色々とお考えをめぐらせていただいていることに御礼を申し上げます。

この機殿に住まれる方々が郷土に誇りを持って、まわりの方々とできるだけ話したり、楽しんだり、稼いだりして生活をより豊かに、そして子どもたちにはもっと元気に。お年寄りの方々にもお身体いっぱいにお持ちの知恵を若い人にさずけていただける、良い巡回の環をしっかりと握って離さない町にしたいものです。

今ひとつ、確信になりつつありますこととして、去年は東日本の大震災、大津波、原発の大事故をはじめ台風の襲来、またこの地域でも津波の被害や、すくすく育っていた稲の開花日たった一日強風に吹かれ、お米の不作やいちご苗にキズがついたり、野菜が吹き飛ばされました。

いわゆる「歴史に記録される年」に生きていることだと思います。それに加えて、他人事ではなく「いつ来てもおかしくない」と言われて久しく、東海、東南海、南海の連動大地震と津波など、大いに心積もりや準備を行い、起こったら自分の身を守り、その後は高台に逃げてほしいと思います。

引き続き、大災害に遭遇された方々へは、義援金やボランティアなど直接的な支援とともに、今後災害増税等々、きびしくとも絆を求めて復興に協力することとなります。

まちづくり協議会も家族、健康、生活、地域などあらためて考え、着実に足元から積み上げるための情報提供に努力してまいりますので、今後ともご協力、ご指導をお願い申し上げます。

あなたも地域デビューしてみませんか？

健康福祉部会長

中川 佳久

皆様、あけましておめでとうございます。去年は地震、津波、原発事故そして台風による豪雨と次から次へと災害があり、多くの方が亡くなられましたことにご冥福をお祈り申し上げます。まちづくり協議会とは、地域のことは地域でと言われますがまだまだ先は見えません。皆様方は、趣味の時間、各町の行事、学校行事、公民館行事、市の行事、生活のため仕事と多忙な日々を過しています。そんな行事の中でまちづくり協議会行事まで中々時間が取れません。しかし、地域の連携が必要だと言われ、それは地震で地域住民の共助が必要です。近所付き合いとか地域の行事に参加し顔合せの場を持ち、顔を覚える。私もスポーツ推進委員を10数年して地域の方の顔をみっていますが、まだまだ知らない方もいます。

さて、健康福祉部会は6つの専門委員会にて24名で活動し健康・福祉について予算を頂きイベント、研究活動をしてきました。少子高齢化は当地域も例外ではありません。若い世代が地域外へ出て行ってしまいう前に、この地域にずっと住みたい、また住んでみたいという雰囲気を考えること、また世代を越えた子どもたちとのふれあいを通じて、生まれ育った地域に愛着を持ち続けてもらうことが大切だと思います。

10年先の機殿地区を考えてみませんか、また、皆様の知恵を頂き24年度の事業計画を作成中です。

・組織変更・規約改正等検討委員会について

平成24年度から、松阪市の全域で住民協議会が設立され、今後はそれぞれの地域と市との間で、補助金の交付金化や役割分担等、新しい関係が築かれようとしています。

このような中、機殿まちづくり協議会においても、組織や規約の見直しを検討していくという方向であり、まず11月11日に五役会で委員会のメンバーについて協議、11月29日の役員会で承認されたことにより、12月13日に第一回目の「組織変更・規約改正等検討委員会」を開催いたしました。

機殿まちづくり協議会は、地域の皆様のアンケートをもとに「いま地域にとって最も大切なことは何か」という課題解決の視点から、現在の「農業振興」「健康福祉」「環境・エコ推進」の3つの部会を設けた経緯があります。

こういった機殿の独自の取り組みを守りつつ、さらに今後は、安全防災といった、より今日的な課題への対応や、周辺地域との連携等も考えた組織づくりを行ってまいります。

今後の部会予定等

農業振興部会

1. 先進地視察(1～2月)
2. 地産地消料理教室(1～2月)です。

決定次第、皆様のご参加心よりお待ちしております。

“まちづくり”が着実に皆様に浸透することを希みます。よいお年を!!

環境・エコ推進部会

・省エネ等への取り組み

今日、さまざまな業界から「省エネ」が提案されていますが、照明のLEDや太陽光発電、ハイブリッド車などまだまだ始まったばかりです。

まちづくり協議会では、平成22年度は中部電力(株)の方の講演からいろいろな省エネを知りましたが、強制されるのではなく自ら取り組み、より豊かになる省エネを目指すために勉強会を続けて、その上で家庭で出来る取り組みから始めていきたいと考えています。

例えば休耕田で菜種をまき花や油を利用した後の廃油を回収し、精製してトラクター等に利用するのなら、どれくらいか省エネと地球保護につくせるのではないかと、といったことなど、一人ひとりでは小さいことでも、機殿中が目標があれば取り組めるのではないだろうか、と考えています。

今後ともご指導をお願いします。

・ホテルの住める町へ

平成22年から取り組みを開始、小学校と市民向けのホテル勉強会を行い、ホテルの一生を周知するため、公民館まつりにもパネル展示とカワニナ、資料を展示。

小学校においてカワニナの育成とホテルの幼虫を受け入れ、育成に努めましたが、残念ながら失敗となりました。しかし小学校で取り組まれたうち、「とべないホテル」の劇は大変注目されました。

平成23年では現在、小学校でホテルのエサとなるカワニナの育成を行っています。引き続き、勉強会や施設を充実して、ゲンジホテルの育成に取り組みますので、ぜひ皆さんも参加していただきますようお願いいたします。

機殿まちづくり協議会 環境・エコ推進部会

花のある環境づくり事業(活動状況)



10月27日に、市民センター前の築山の周りに、パンジーとビオラの苗を植えさせてもらいました。水捌けの問題と見た目の方を重視して、直植えにする事にしました。植える前の除草作業、植えてからの周りの除草作業、雨が多かった事で根が弱ったりと、色々問題はありましたが、何とか育ってくれたようです。誰に観てもらっても、感動していただくにはまだまだですが、少しずつでも進歩していけたらと思っています。市民センターに来られた時は、一度眺めてみて下さい。

花のある環境づくり事業の目的として、休耕田を利用して花等で景観形成を行うという、漠然とした仕事に掲げられているのですが、人の土地に花を植えても、その後の夏場の除草等は担当者だけでは大変な仕事量になってきます。

それで今年は担当者の管理地に彼岸花、水仙等を植えてみました。その結果が良かったとしたら、徐々に花いっぱい運動に協力していただける方に、自分の土地にそういう場所を増やして行ってもらうという事しか、実践できる方法が無い様に思います。まちづくりのために協力していただける方どうか宜しくお願いいたします。

機殿まちづくり協議会 健康福祉部会

健康福祉部会のお楽しみ会

12月18日(日)多目的ホールにて「香川ゆう子」さんを招いて歌謡ショウが開かれた。大正琴の演奏に続いて、香川さんの持ち歌が披露され、歌の合間に伊勢の豊浜出身だとか、幼い頃のエピソード、母親との思い出とか話され親近感を感じた。参加者とのデュエットもあり、会場は多いに盛り上がった。最後に締めくくったのは、しよんが踊りで、香川さんも輪に入り楽しい時間を持ってました。ただ、残念だったのは、参加者が予定より少なかったこと、もう少し動員に、一考が求められそう。でも、視聴者参加型の企画は、みんなが楽しめますのでもっと、多くの人に楽しく参加して頂ける様、今後も企画して行こうと思いました。



編集後記

地域活動また部会活動等作成した内容を充実させて行きたいと委員一同協力をお願いします。

編集委員

委員長

鈴木 正一

環境・エコ推進部会

副委員長

池田 壽

健康福祉部会

副委員長

西川 幸二

農業振興部会

委員

三宅 隆之

農業振興部会

委員

中谷 啓子

健康福祉部会

委員

関岡 真知子

環境・エコ推進部会

ご意見・ご希望等有り

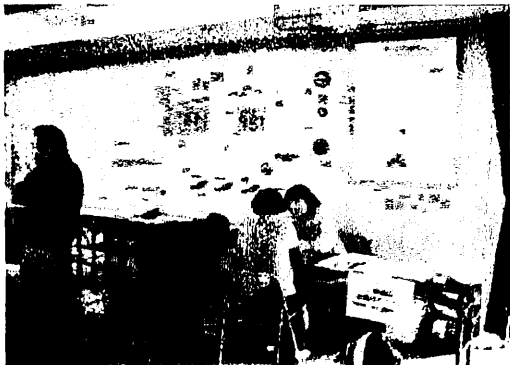
ましたら、広報部

までお知らせ下さい

・機殿公民館まつり・幼、小学校文化祭

11月27日(日)、機殿公民館まつり・幼、小学校文化祭が開催され、まちづくり協議会の各部会も、それぞれ会場内にコーナーを設け、参加しました。

農業振興部会は「お茶」をテーマとして、試飲会や茶葉の販売などを行い、多くの来場者でにぎわいました。



健康福祉部会は市の健康センターと合同のブースで効果的なウォーキングの指導や手軽なウォーキングコースの紹介、健康吹矢等を体験できるコーナーがありました。

環境・エコ推進部会は中部電力㈱の協力を得て、電気エネルギーや地球温暖化に関する展示を行い手動や風力で発電する実験道具が目をひいていました。

最後の福引大会では、まちづくり協議会提供の賞品「自転車」も当たるということで、多数の皆さんが集まり、熱気に包まれたまま一日の行事を終えました。



機殿まちづくり協議会 農業振興部会

部会長 横井富夫

不思議なさつま芋掘り大会

お〜い イモくん!! どこにいるの??

アレッ!! おイモさんがいないヨ!!



こんな状態の今年度のさつま芋掘り大会でした。皆様のご期待を見事に裏切ってしまいました。本当に申し訳ございません。しかし今回私が思っていた以上に沢山の方々のご参加をいただき本当に感謝しています。これはこれで楽しい一時であったと確信しています。来年は名誉挽回ご期待ください。